

持続可能なスウェーデン協会理事 レーナ・リンダルさん同行 子どもたちに希望を！

新エネルギーに取り組むスウェーデンの人々と出会う旅

このツアーは持続可能なスウェーデン協会の日本代表のレーナさんと教育プロジェクト担当のバルブロさんと一緒に企画しました。レーナさんはストックホルムを案内してから同行して通訳を担当します。バルブロさんはウーメオ市から同行し、家族の故郷やサステナビリティコンサルタントとして活躍した地域を案内します。

日程：2011年8月20日（土）～28日（日）9日間
場所：スウェーデン

（ストックホルム、ウーメオ、オーベルトーネオなど）

旅行代金：245,000円（ストックホルム集合・解散）

※2名1室利用

※成田発着など航空機の手配もご希望の方はご相談ください。

現在SK（スカンジナビア航空）は往復16万円前後（サーチャージ等除く）で手配できますが（6月上旬現在）、購入時期が遅くなると高くなる可能性があります。

一人部屋追加料金：56,000円

食事条件：朝6回、昼0回、夕2回付き ※機内食を含まず

募集人員：12名（最少催行人員：8名）

申込締切：2011年7月20日（水）※定員になり次第締め切らせていただきます。



◆オーベルトーネオ地域の景色

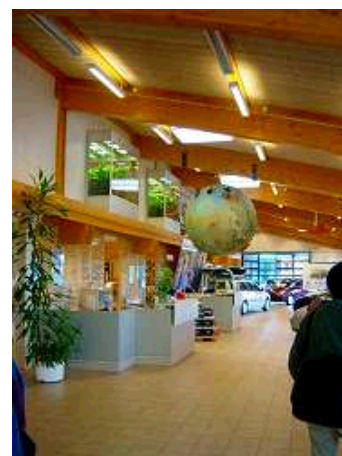


◆オーベルトーネオは北極線にもフィンランド国境にも近いスウェーデン最北の町でスウェーデン初のエコ自治体

日本は福島原発の事故でたいへんなことになったことで、原発以外のエネルギーの可能性に多くの人が関心を寄せることになりました。最近各地で上映される映画「ミツバチの羽音と地球の回転」でも紹介されているように、スウェーデンの自治体が再生可能エネルギーの導入や持続可能な社会づくりに積極的に取り組んでいます。

その映画にも出てくる、スウェーデン初のエコ自治体オーベルトーネオ市に行ってみませんか。同市の市議会子どもと教育委員会の委員長をつとめるアンニカさんの案内でオーベルトーネオの新エネや教育の取り組みを視察します。オーベルトーネオは北極線に近い町でフィンランドの国境にも近いです。

地平線まで森が続き、きれいな水の川が流れ、新鮮な空気を吸えるところです。8月は涼しく、ブルーベリーなどの野生のベリーもたくさんできています。そんなところで旅行しながら、これからの日本の可能性について話し合ったり一緒に考えたりしませんか。



◆環境教育団体ナチュラル・ステップの原則に沿って作られた乗用車利用者のためのエコ地区



Lena Lindahl レーナ・リンダル

一持続可能なスウェーデン協会、理事、日本代表一

2000年～2003年、スウェーデン生まれの環境教育団体、ナチュラル・ステップの日本での設立に関わる。2002年以来「持続可能なスウェーデン・ツアー」の日本側コーディネーターと通訳を務める。2005年以来、持続可能なスウェーデン協会（Sustainable Sweden Association）日本代表、2010年に理事就任。現在、スウェーデンと日本を歩き来しながら、サステナビリティの分野で学び合いの交流を促進する事業を行い、多くの協力者と連携しながら企画から実施までのプロデューサーとして活躍している。



Barbro Kalla バルブロ・カッラ

一持続可能なスウェーデン協会、教育プロジェクトコーディネーター一

1998年以来、エーサム社でコンサルタントとして勤務。研修のリーダー、アドバイザー、国際コーディネーターとして、持続可能な発展の分野で必要とされる能力を拡大していくためのサービスを提供している。また、10年ほど前からウーメオ自然学校とウーメオ自治体と共に活動しており、学校関係者のネットワークを築くうえで『プロセスリーダー』をつとめ、持続可能な発展やESD（Education for Sustainable Development/持続可能な発展のための教育）についての講師として活躍した。またスウェーデン学校庁が提供する「持続可能な学校」という認証制度の取得ができるように、幼稚園や学校の支援をするうえでも重要な役割を果たした。



◆オーベルトーネオツアー旅行地図



持続可能なスウェーデン協会

持続可能なスウェーデン協会は持続可能な社会という共通のビジョンをもって、企業・団体の協力組織として2000年に設立された非営利・非政府団体である。

会員は全世界を相手に先駆者として持続可能性に向けた社会変革プロセスに貢献をしようとしている。協会の会員は1997年以来、学びの交流を目的とする「持続可能なスウェーデン・ツアー」を開催している。

※詳しくはHPをご覧ください。 <http://reborn-japan.com/>

行程表

	月日	都市名	交通機関	時間	行程	食事
1	8/20 (土)	成田初 コペンハーゲン着 コペンハーゲン発 ストックホルム着	航空機 航空機	朝 午後 夕刻	(空路、スウェーデン・ストックホルムへ) 各自 (ほとんどの便は同じ日のうちに到着。 1人で到着するのが不安な方はリボーンに相談を。 ホテルチェックイン(現地ホテル集合)【ツアー開始】<ストックホルム泊>	機
2	8/21 (日)	ストックホルム 滞在 ストックホルム発	公共交通 列車	終日	ツアーオープニング[案内役挨拶、参加者、予定紹介など] スウェーデンとストックホルム イントロダクション、ガイド:レーナ・リンダル(その後通訳) ウェルカムディナー後 寝台列車で北へ <車中泊>	朝 夕
3	8/22 (月)	ウーメオ着	公共交通	早朝 終日	ウーメオ市到着、朝食 バルブロ・カツラ(Barbro Kalla)合流 グリーンゾーン、野外教育や持続可能な開発のための教育(ESD) に力を入れている幼稚園訪問 <ウーメオ泊>	朝
4	8/23 (火)	ウーメオ発 オーベルトーネオ着	公共交通	朝 夕刻	長距離バスでオーベルトーネオ市へ この日は、車窓からスウェーデンの美しい景色を眺めながらのバス旅行です。 (バス内はインタ? ネット接続も可能です) <オーベルトーネオ泊>	朝
5	8/24 (水)	オーベルトーネオ 滞在	公共交通	終日	映画「ミツパチの羽音と地峡の回転」に出てくる スウェーデン初のエコ自治体、オーベルトーネオ自治体視察 (自然エネルギー、幼稚園など) <オーベルトーネオ泊>	朝
6	8/25 (木)	オーベルトーネオ 滞在		終日	ワークショップを交えて、今回のスウェーデンでの体験を振り返ります。 サヨナラディナー <オーベルトーネオ泊>	朝 夕
7	8/26 (金)	オーベルトーネオ発 ルーレオ着 ルーレオ発 ストックホルム着	航空機	午前 昼 夕刻 夜	出発まで自由行動 路線バスにてルーレオへ 到着後、空港へ 空路、ストックホルムへ <ストックホルム泊>	朝
8	8/27 (土)	ストックホルム発 コペンハーゲン着/発	航空機 航空機	午前 昼 午後	ホテルチェックアウト【ツアー終了】その後空港へ 空路、コペンハーゲンへ コペンハーゲン発	機
9	8/28 (日)	成田着		午前	到着後、解散	

※企画協力:持続可能なスウェーデン協会(Sustainable Sweden Association)

※上記予定はやむを得ぬ事情により変更になる場合があります。 ※「公共交通」には徒歩も含まれます。

※現地集合、解散については詳しく説明しますので安心してご相談ください。

日本からはエコツーリズムプロデューサーもサポーターとして参加します。

■ 峯崎 健一郎 有限会社リボーン<エコツーリズム・ネットワーク>代表取締役プロデューサー。2005年ドイツツアー企画準グランプリ、2007年環境省エコツーリズム大賞特別賞、2010年同優秀賞など受賞。限りある資源(自然・文化)を守りながらの持続可能なビジネスを目指している。エコツーリズムプロデューサーとして執筆や講演活動中。NPO法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン代表理事、武蔵野大学環境学部非常勤講師。
<http://blog.goo.ne.jp/ecotour/>



◆お問合せ・お申込み先
有限会社 リボーン<エコツーリズム・ネットワーク>
東京都知事登録旅行業第2-4850号 (社)全国旅行業協会 会員
TEL: 03-5363-9216
FAX: 03-5363-9218
URL: <http://reborn-japan.com>
E-mail: eco-tourism@reborn-japan.com
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1-1203
総合旅行業務取扱管理者: 峯崎健一郎 担当: 峯崎まゆ子



「子どもたちに希望を!新エネルギーに取り組むスウェーデンの人々と出会う旅」参加申込書

フリガナ	どちらかお選びください。		性別	年齢	参加人数
氏名	□成田発着手配希望 □現地集合				
現住所	〒 -				
連絡先	TEL	FAX	携帯		
E-mail					
備考欄	(同行者がいらっしゃる場合は、お名前・ご年齢をご記入ください。)				
何でお知りになりましたか?					

※FAX又はメールにてお申込みください。